

挑戦 ～翔ける思い～

常にベストを目指して

若さを強みに



中村社長

「ベスト」とは

世の中の情勢が非常に厳しいと言われている現代社会。そうした中で、1つ気を緩めれば取り返しがつかなくなることも往々にあるのではないかと思います。

「常に気を緩めず、ベストを尽くす」、そうした会社がこの厳しい現代社会において、生き残っていく会社なのではないかと考えます。

ここで言う「ベスト」とは、与えられた仕事をしっかりこなすことです。

最初から楽しい・重要な仕事は任せてもらえません。一歩一歩地道に努力をするか

らこそ、実力も付いてきますし上司からの評価も高まり、仕事がいだけるようになります。

ただ、時にはチャレンジも必要です。言われたことを、こなすだけであつては、今以上の進歩は望めず、ここぞといった時に対応することができません。あくまでも、与えられた仕事や指示は忠実にこなさなければなりません。しかし、そうした中でも1日1回は、何らかのことにチャレンジするよう心掛けて下さい。

考えて臨む

前述の点を踏まえ、我が社がより良い会社になっていく為の課題について考えてみたいと思います。

現状において、社員の皆さんには、非常に頑張っていただいであります。

ただ、不具合を解決し目標に少しずつ向かうといったPDC Aサイクルがまだまだ確立されておりません。

「目標を達成した時のイメージ

ジが付かない」ことが確立できていない要因にあるかもしれません。

ただ、嘆いていても仕方がありません。急激に変わることは難しいですが、少しずつの積み重ねでも、積もれば大きな変化となります。

アリとキリギリスの話ではありませんが、例え、今の段階で困難が発生しても、それを乗り越えれば大きな成果が得られます。目先のことに捉われず、地道に活動をしていくことが大事です。

「今行へべきこと」

そうした中で、改善に向けた具体的対策として、2つの勉強会を実施したいと考えています。1つは、仕事への考え方を深めるための勉強会、そしてもう1つは「理念と経営」の勉強会です。

このような勉強会を重ねていくことで、仕事への考え方や理解が良い方向に深まり、社風も良くなると思います。

また、社風が良くなることによって、作業を行ないやすい環境が整い、品質も良くなります。そして、最終的にはお客様から、更に高い支持をいただくこ

とができます。

ただ、会議を行なうにしても「参加するだけの会議」であつては意味がありません。

1人ひとりが参加する事の意味や意義をしっかりと感じ取り、活気のある、会議を目指していきましょう。

若さと可能性

最後に、我社は、とても若い会社です。若さは時として弱みとなりがちです。しかし、そうした点を強みに変えていくことができれば会社としても、もっと大きく成長できるのではないかと思います。

若さには無限の可能性があり、一度勢いに乗れば大きく成長することができます。つまり我社にも、無限の可能性が広がっているといます。

ただ、根底にあるのは各個人の意識です。

「ベストを尽くして頑張ろう」として「一回りも二回りも成長しよう」という気持ちは何よりも大事です。

時には厳しい・辛いといったこともあると思います。そうした中でも、皆さんで励ましあいながら、常に「ベスト」を尽くして頑張っていきましょう。